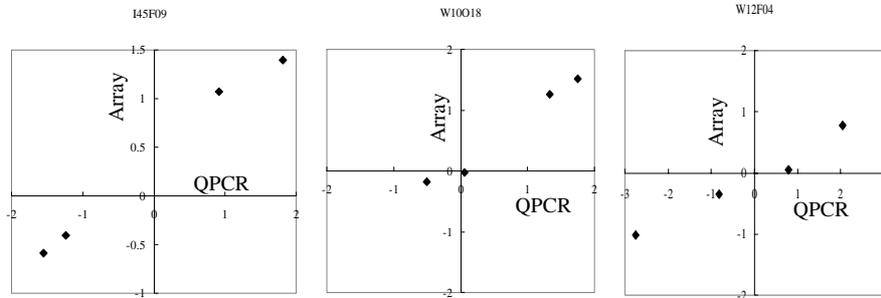


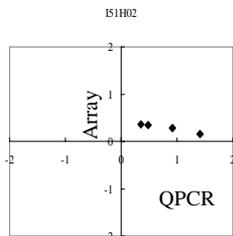
## 準備状況・DNAマイクロアレイ

### 解決すべき課題

#### 定量PCRと相関のある遺伝子の例



#### 定量PCRと相関の見られない遺伝子の例



- 遺伝子発現変化の検出感度の差  
プローブなどの検討
- 搭載遺伝子数が少ない(ホルモン受容体など)  
解析、搭載遺伝子の充実

## 今年度の計画

現在の評価用DNAマイクロアレイ 178遺伝子

ESTの解析とプローブ設計  
搭載遺伝子数を増やす  
問題点の解決(信頼性の向上)

3000 - 5000遺伝子を搭載した  
DNAマイクロアレイを作製し評価

これにより 従来の内分泌攪乱化学物質の評価  
作用メカニズムの解析  
新規バイオマーカーの探索

をめざす

# 年次計画

